

保育士を目指す子供みらい基金奨学生からの手紙

今私は短期大学で、幼児教育について学んでいます。将来は児童養護施設などで活躍する施設保育士になりたいと思っています。そのために今は、保育士資格を取得するために日々勉強に励んでいます。ですが、コロナウイルスの影響で前期はほぼWeb授業で終わってしまいました。テストもレポート作成での評価になってしまいましたが、前期は単位を落とさずに終わることができました。そしてこのような時世ですが、有難いことに後期に幼稚園実習を行えるとのこと。実習先を探すのに何件も受け入れを断られてしまいましたが、無事に実習を受け入れて頂けることができました。慣れないコロナ禍での生活ですが、後期もWeb授業で学びを深めていきながら、11月に始まる実習も頑張りたいと思います。

ご寄付頂いた方々、ご寄付して下さりありがとうございます。私は、皆様がいるおかげでこのように毎日充実した一人暮らしや学校生活を送ることができています。将来施設保育士になるためにこれからも勉学に励んでいきたいと思っています。頑張ります。ありがとうございました。

MTさん



2020年に入ってからは授業も少なくなり、単位も順調に取れてきています。しかし、新型コロナウイルスが日本に到来し始めてから色々なことが不便になってしまいました。例えばバイトが行きづらくなったり、今までは多く外食や娯楽施設を楽しんでいましたが、今ではどこに行くにしても、少し躊躇してしまいます。

愛知県の色々な大学からもコロナウイルスの感染者が出てきていることで、私の大学も対面での授業がなくなり、オンライン授業になっています。6月に始まっていた施設実習も延期になり、とても悔しい思いです。

私生活において、どこに行くにしてもマスクをしないと行けないので、とても生活しづらいのが本音です。今や観光にも行けない、外食も控えている、娯楽施設にも行けない。けれど収束したら色々なところに行き、大学の対面での勉強も改めてスタートされることなので、今のうちからきちんと時間を活用していきたいと思っています。

KSさん

ご支援していただきありがとうございます。今年2月3月から流行し始めた、新型コロナウイルスの影響で4月から予定していた学校が休校となり、5月の間はオンライン授業で講義を受けました。アルバイトのほうも、緊急事態宣言に伴い休業してしまい、なかなか慣れない生活が続いた半年になりました。

今年の7月には保育園実習に行かせていただき、より近くで色々な事を学べました。今回が初めての実習だったので、すごく不安であり自信が無かったのですが、園の先生や子供達が優しく、楽しく行う事ができました。

子供の身近に関わる事ができる仕事はやっぱり楽しいんだなと思います。すごく自分に自信のつく実習になったなと思います。

今回のような慣れない生活を送った中で、改めて支援して下さっている方々のありがたさを感じる事ができました。

コロナをマイナスではなく、前向きに感じる事ができた上半期でした。

いつもありがとうございます。

KTさん



新型コロナウイルスが流行しており、想像していたような大学生活ではありませんが、保育士になるために勉強に励んでいます。前期はオンライン授業がほとんどで、毎回出される課題をこなして行くのが大変でした。

後期からは対面授業の予定なので、楽しみもありますが早く大学の雰囲気慣れていかないと感じました。また11月には幼稚園実習、2月には施設実習もあるので、それに向けてピアノや手遊びなどの練習もやっています。

想定外のことが起こって対応などが大変なこともあります。私がやるべきこと、保育士になるために勉強をすることは変わらないと思うので、目の前のできることをひとつひとつ一生懸命取り組んでいこうと思います。

KIさん



児童養護施設の皆様へ 本年の要綱は、11月末頃ホームページに掲載予定です。

子供みらい基金では、児童養護施設で家庭に恵まれずに育った卒園生が、「将来、保育士として子供たちのために働きたい」という夢を叶えています。

ご支援ありがとうございます!

多くの皆様のご賛同、ご支援で、子供みらい基金は運営されています。

- (株)未来塾 岸野一夫 様
- 未来塾チャリティ 様
- (株)ハートインターナショナル 様
- (株)北山興産 様
- (株)ロジネットアドバンス 様
- (株)パシコム 代表取締役 渡邊ひとみ 様
- MIGPチャリティ 様
- (株)ライフアレンジメントoffice 関 代表取締役 関秀樹 様
- (株)テスト 代表取締役 櫻庭乙慶 様
- RFS Management(株) 様
- HRソリューションズ(株) 代表取締役 武井繁 様
- なでしこTOKYO(株) 様
- (株)ウェブコミュニケーションズ 代表取締役 高山指月 様
- (株)M・A・Logi 代表取締役 田中満廣 様
- (公社)鎌田財団 様
- ネオス(株) 様

- 大建ビルテクノ(株) 様
- 有谷裕 代表取締役 谷山明美 様
- 絆ライブ 長井利美 様
- なだれ坂音楽祭実行委員会 様
- (株)三和 様
- (株)葉山国際カンツリー倶楽部 様
- (株)葉山産業 様
- 鈴木 克明 様
- 渡邊 由紀子 様
- 上田 彰 様
- 吉田 真紀子 様
- 鈴木 理恵 様
- 阿川 純隆 様
- 小森 茂樹 様
- 伊藤 圭二 様
- 故 尾形利朗先生を偲ぶ会 様

- サウンドクルージング2019実行委員会 様
- 竹内 陽治 様
- (株)suu・suu・CHAIYOO 代表取締役 川口洋 様
- 田中 早知子 様
- 鈴木 秀世 様
- 金代 直人 様

(順不同)



長年ご支援いただいている(株)未来塾塾長 岸野一夫 様より

このコロナ禍を乗り越える希望を児童養護施設の子供達に届けましょう!

一般社団法人 子供みらい基金 機関紙



事務局 2020年11月発行
〒106-0041 東京都港区麻布台3-5-5-1203
Tel: 03-6441-2781 Fax: 03-6441-2789
E-mail: mirai@children-future.info
URL: <https://children-future.info>
ホームページ

Tetote

子供みらい基金保育士資格取得みらい奨学金 特集

「子供の頃、不遇だったからこそ、子供たちのための仕事がしたい」
「保育士の資格を取って児童養護施設の職員として子供たちのために働き、施設で育った恩返しをしたい」
児童養護施設で暮らすそんな子供たちの夢を支えるために創設されたのが『子供みらい基金保育士資格取得みらい奨学金』です。

本号では、子供みらい基金の奨学生のインタビューや作文などを掲載します。
子供みらい基金は児童養護施設の子供たちのための様々な支援をしています。
児童養護施設には家庭に恵まれない子供たち2万6千人が暮らしており、約半数が児童虐待を理由とするものです。コロナ禍の中で家庭での虐待はさらに高まっています。
今後とも何卒ご支援ご助言いただき、子供たちの未来に寄り添っていただきますようお願い申し上げます。

子供みらい基金 理事長 池田幸司

活動報告

令和2年11月14日18時9分(189番にちなむ)、東京タワーをオレンジリボンカラーに点灯し、児童養護施設の子供たちにエールを送ります

『増え続ける児童虐待根絶を啓発するオレンジリボン活動』と『子供への虐待かな?と思ったらすぐに189番!の児童虐待対応ダイヤル』を周知する全国啓発を子供みらい基金は後援しています。

- 【主催】ライオンズクラブ国際協会330-A地区
- 【共催】港区、認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク
- 【後援】東京都、一般社団法人子供みらい基金、東京都社会福祉協議会
- 【特別協力】株式会社TOKYO TOWER



ご寄付のお願い

子供みらい基金の活動は皆様の善意で成り立っております。金額、時期の決まっていない「スポットでのご寄付」の他、「毎月の定額寄付」(毎月2万円、1万円、5千円、最低2千円でも受け付けております。銀行口座自動引き落とし、クレジット決済も可能です)でもお受けしております。お申し込みは下記の方法でお願いします。

お申し込み方法

- ① ホームページからお申込み <https://children-future.info/>
- ② メールまたはお電話でお申し込み・お問い合わせ
一般社団法人 子供みらい基金 事務局 | 〒106-0041 東京都港区麻布台3-5-5-1203
Tel: 03-6441-2781 Fax: 03-6441-2789 ✉ mirai@children-future.info

対談 子供みらい基金と共に夢を育む奨学生と語る

池田理事長 こんにちは、本日は奨学生のお二人、白崎さんと土屋さんにお越しいただきました。お二人は児童養護施設で育ち、現在、それぞれの夢を叶えようとしていらっしゃいます。今日はお二人の現在のことなど、お話をお伺いしたいと思います。

児童養護施設には何歳からいらっしゃったのですか。

白崎さん 私は2歳の時から児童養護施設で暮らしていました。小さい時は親と面接などもしていた記憶がありますが、物心ついてからは親とはほとんど会ってはいません。

土屋さん 私は9歳の時から施設におります。親とはほとんど会っていません。18歳になって施設を出なくてはいけなくなりましたが、兄弟たちはまだ施設で暮らしています。

池田理事長 施設にいたときの悩み事や良かったことなど教えてください。

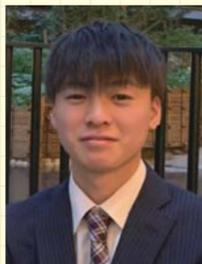
白崎さん いつも職員の皆さんに励まされていました。今も月に1度は施設に行って職員の皆さんや在園生と話をしに行きます。人付き合いの仕方も上手くなると思います、友達の作り方も小さい頃から多くの仲間と育ってきたからこそまい方だと思います。いろいろなことを学ばさせていただきました。



白崎さん

悩み事というかわかりませんが、小中学校の時は感じなかったのですが、高校生になってから施設にいたことが友達とかに言い出せなくて気になっていました。友達からの電話が施設につながってしまうことも恥ずかしかったです。今は胸を張って児童養護施設という場所が子供たちの成長を支えている大切な場所だと言うことができます。

土屋さん よかったことは、周りの人に気配りもできるようになったことと、大人たちとの付き合いもうまくなったことです。悩みというのは僕も施設にいることを言うべきかとか、きっかけがなくて悩んだことがあります。



土屋さん

池田理事長 私も児童養護施設を運営しているのですが、地域交流会というものがある、学校の友達などにも来ていただいて楽しい時間を過ごし、懇親を深めるいい機会になっています。児童養護施設が家庭と同じような生活の場であるということを積極的に理解してもらっています。保育士になろうと思ったのはどのような理由からですか。

白崎さん 私にとって、児童養護施設の職員は親や兄弟、肉親のような支えとなっていました。そしていつも笑顔で楽しそうに働いているのを見て憧れました。次第に児童養護施設の職員になりたいと思うようになりました。児童養護施設の職員になるためには保育士等の資格が必要です。私はその夢のために保育士を取得する夢を抱きました。

池田理事長 子供たちの成長や希望を担うとてもやりがいのある仕事ですね。白崎さんは児童養護施設のことをよく知っているし、適職だと思います。ぜひ夢を叶えてください。

池田理事長 土屋さんは保育士を目指す理由はどのようなことからでしたか。

土屋さん 私も施設の職員さんと接しているうちに子供に関わる仕事がしたいと思うようになりました。私は学生時代からサッカーをやっていたので、できれば子供たちにスポーツの楽しさを教えるような仕事に就くのが夢です。

池田理事長 これまでの自分の経験を活かした夢が叶うといいですね。今の生活はどんな様子ですか。



白崎さん 一人暮らしで自活をしています。お弁当も作っています。お金を貯めなくてはならないのでアルバイトは週4回しています。部活をやる暇は、時間的にも金銭的にも余裕がありません、週末もバイトになります。つくづく思うのは、子供みらい基金の奨学金がなかったら、学校には行けなかったことです。毎日をがんばります。

土屋さん 僕も学業とアルバイトの日々です。部活はしていません。でもとても充実しています。夢に向かっていくのですから。

池田理事長 後輩たちにアドバイスはありますか。

白崎さん 奨学金を知らないで夢をあきらめている施設の子供たちがたくさんいると思います。もっとこのような奨学金の存在を知ってほしいと思っています。子供みらい基金の奨学金には本当に感謝をしています。先日も大学のゼミで児童養護施設の生活や奨学金についての研究発表があったのですが、子供みらい基金の奨学金について発表をさせていただきました。様々な支えの中で我々があるということやゼミの皆さんに知っていただきたかったです。

池田理事長 それはありがたいですね、土屋さんは後輩たちに伝えたいことがありますか。

土屋さん とにかく、やりたいことを見つけて欲しい。夢をあきらめないでほしいと思います。そして周りにはたくさんの大人たちがいますので、頼れるところは頼って欲しいと思います。子供みらい基金の奨学金もまた僕たちの夢を叶えてくれる頼りになる存在です。

白崎さん 僕は中学2年生から保育士になりたいと言う夢を持っていましたが、思い続けて良かったとつくづく思っています、諦めなくてよかったなあと思います。

池田理事長 今日はお話を聞かせてくれてありがとう。これからも子供みらい基金は君たちに続く後輩たちの夢に寄り添っていきたいと思います。後輩たちの先頭に立って皆さん必ず夢を叶えてくださいね。悩み事等あればいつでもご相談ください。白崎さん、土屋さん、ありがとうございました。

子供みらい基金は、一般の高校生に比べ進学率が極端に少ない児童養護施設の子供たちの卒園後の夢を支援しています。特に、子供時代、家庭に恵まれず不遇だった児童が「将来子供の面倒を見る保育士になりたい!」という夢に寄り添う『子供みらい基金保育士資格取得みらい奨学金制度』を実施しています。